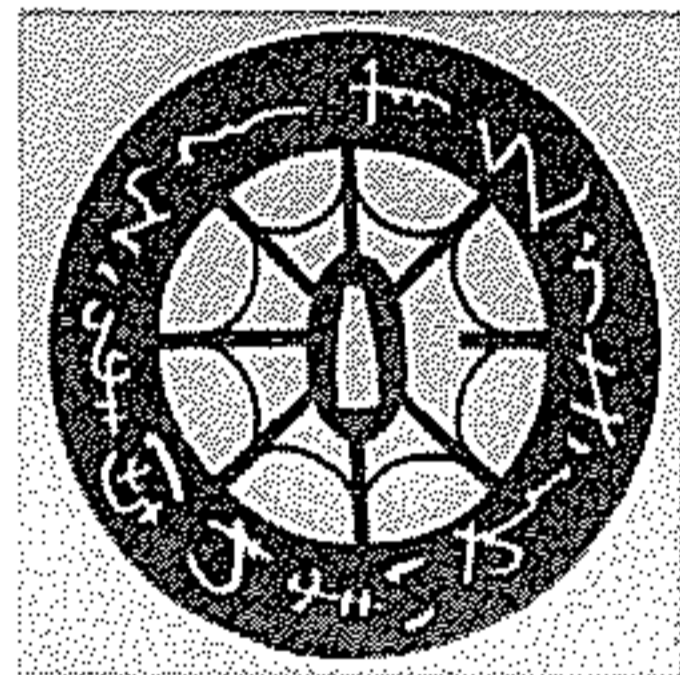


忠勝を知るべし

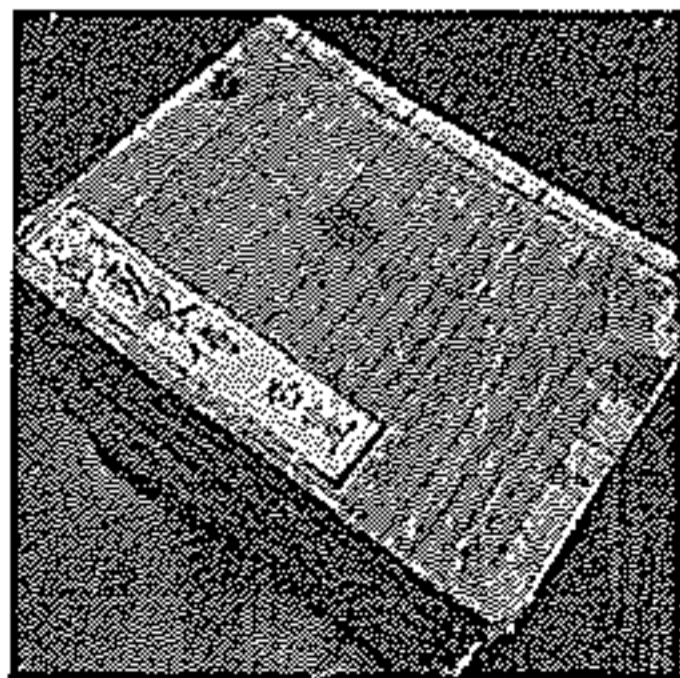
すくんうきよや
いまわ満まる
こつかう

この暗号のような文章は本多忠勝公が所愛した刀の鐔に刻まれた文字。立ち合った相手を迷わせるためのものではないかとか、「うきよ」を「浮世」と解釈したりして、これまで定説がありませんでした。今回新たに登場した説では、この鐔が作られたのは文禄・慶長の役が終わった慶長3年(1598)から忠勝公が没した慶長15年の間と考え、平和な時代の到来を寿ぐものではないかとするものです。そうした観点でこの文章を解釈すると「身のすくむ憂き世(戦国時代)も今は丸く治まった。さあ新しい時代のために働くぞ」という忠勝公の決意が読み取れます。この説で決まりのようですね。



発見! 「本多忠勝勇略伝」

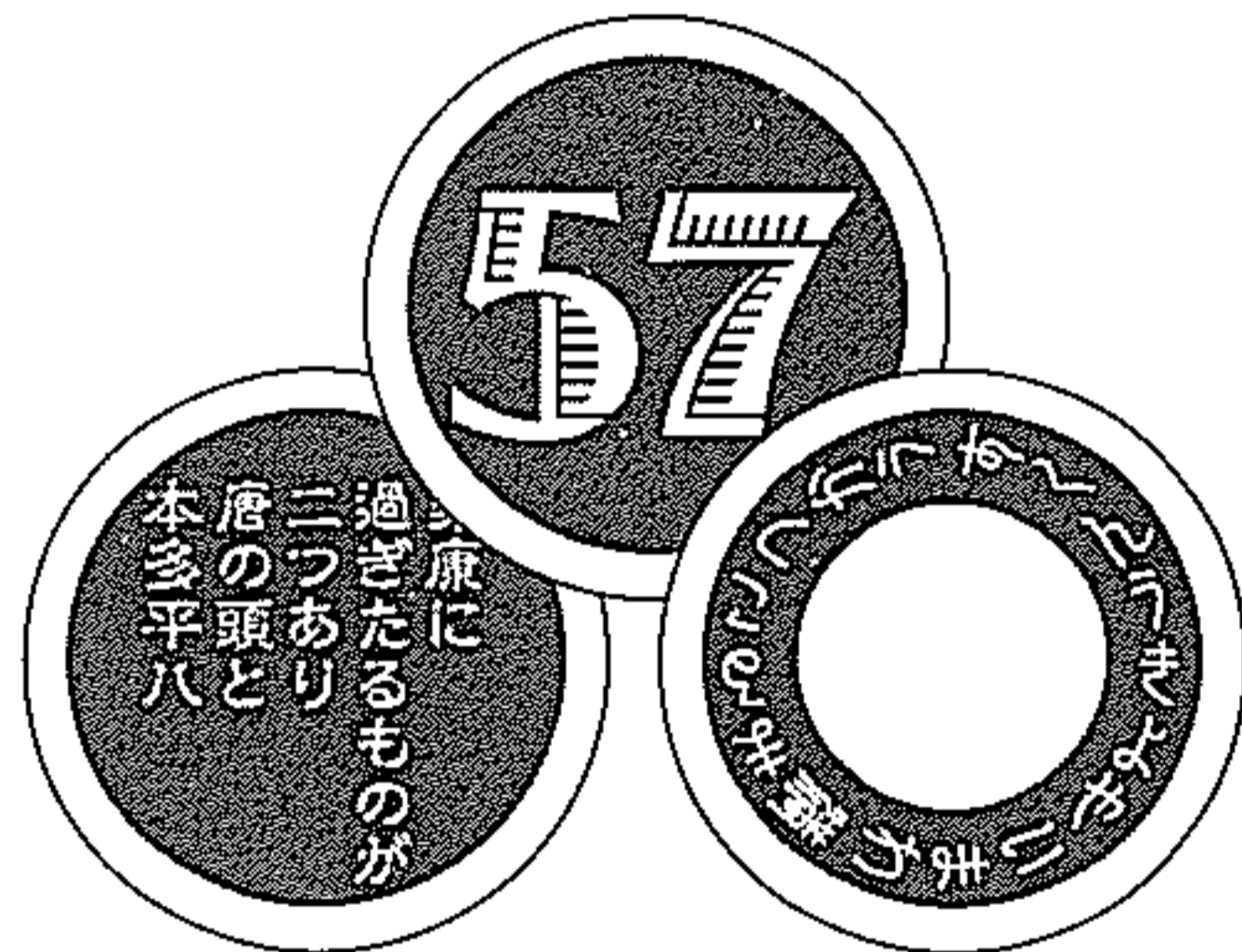
本多忠勝公の生涯に付いて江戸時代の人々も興味を抱いたようで、「本多忠勝勇略伝」と題した江戸時代の写本の存在が岡崎市内で確認されました。全25巻からなる大冊で、本多家の出自から説き起こし、忠勝公の最期で筆を置いています。詳細な内容に付いては今後の研究が待たれますが、こうした和本が現在まで伝わったのは何とも嬉しいことに違いありません。



早耳情報

電車どおり5商店街では、現在「本多忠勝グッズ」を開発中。乞う御期待!

「町歩きを楽しんだ後に欲しくなる町のお土産」をキーワードに、商店街グッズを開発中の電車どおり5商店街では、今回新たに「本多忠勝グッズ」の開発に着手しました。これは岡崎市を訪れる観光客や、戦国時代マニアの要望に応えるもので、第一弾として面白さと蘊蓄(うんちく)を両立させた「焼き印煎餅」を企画しています。発表は2009年3月を予定、できた試作品は図書館交流プラザ「りぶら」を会場に、試食会とアンケートの収集、情報の分析も行う計画です。

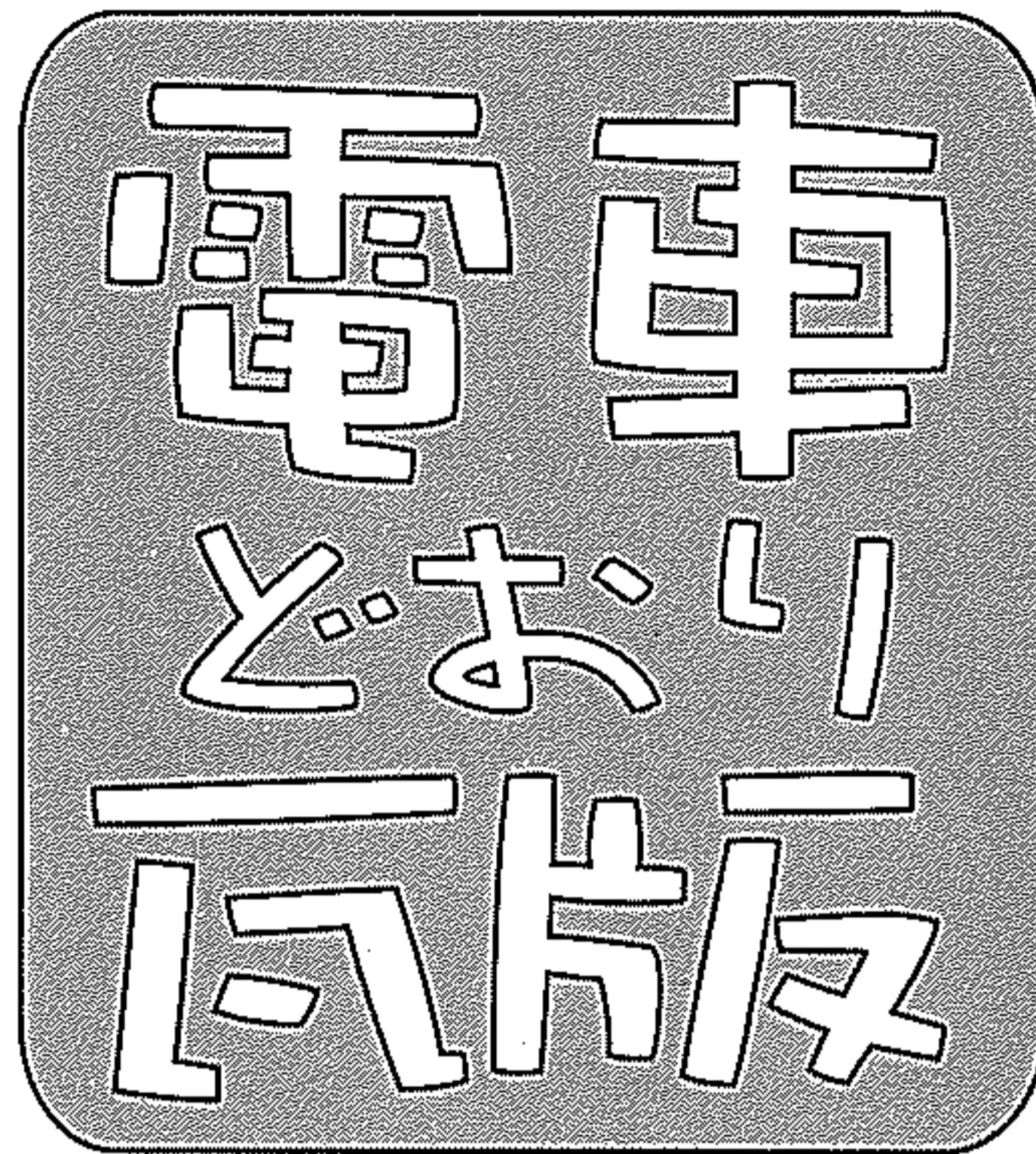


■発行

- 電車どおり5商店街
- 能見北発展会
- 本町清明ストリート
- 岡崎銀座商店街振興組合
- 殿橋通発展会
- 岡崎明大寺商店街振興組合
- 街情報ステーション

■協力

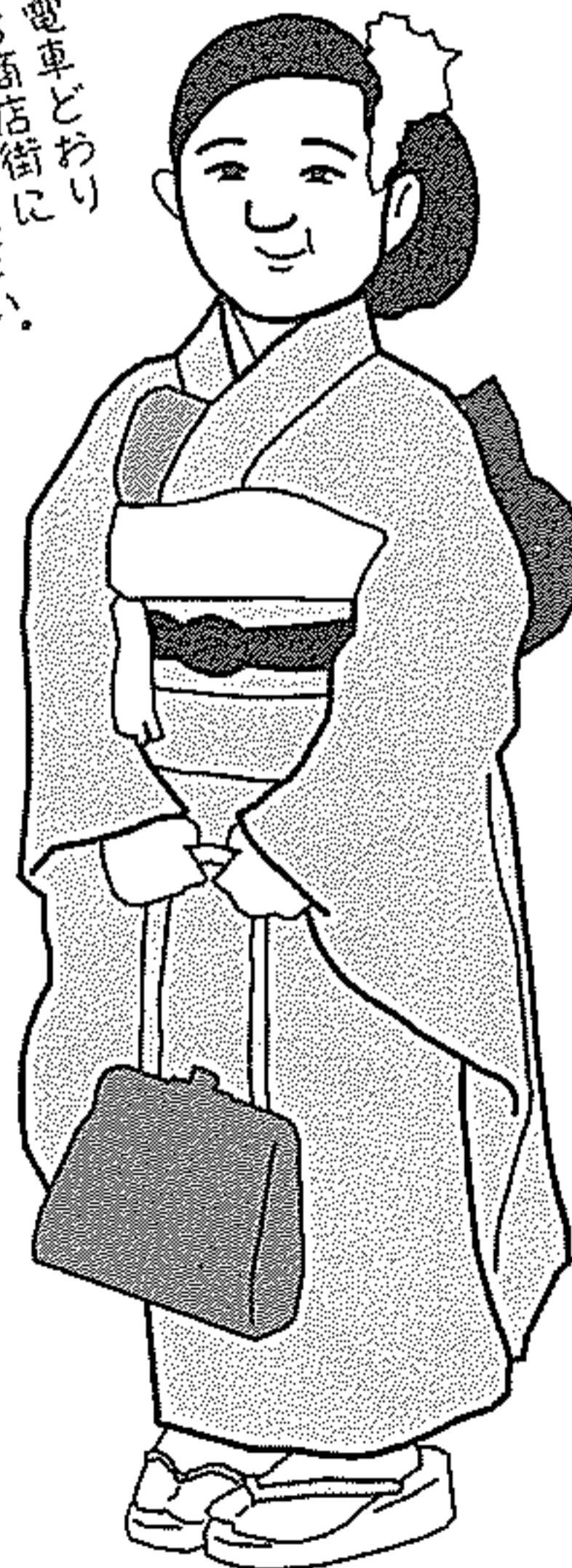
- 岡崎商工会議所
- 岡崎市観光協会
- 編集協力
- おかざき塾
- 三河・岡崎のタウン誌「リバーシブル」



2009年(平成21年)1月・2月(第16号)

電車どおりの住民がご近所のネットワークを活かしまち歩きを楽しむおすすめポイントをご紹介します。

電車どおり5商店街に
おこしく下さい。
お待ちしております。



岡崎人なら本多

NHK・BS夜話で堂々2位

NHKで今年5月に放送された「BS熱中夜話・戦国武将ナイト・第2夜」の「マイフェイバリット戦国武将編」で堂々の2位に輝いたのが本多忠勝公。11月に再放送があったのでご存知の方も多いのでは。しばらく前に、ロールプレイングゲームに戦国時代が登場してから、若い人たちの間でも忠勝公は人気となりましたが、これはいよいよ本物です。本多忠勝公は天文17年(1548)に、岡崎市西蔵前町で生誕した武将。子孫は明和6年(1769)から明治までの100年間、岡崎藩主を務めた縁の深い人物です。



57戦して無傷が人気の理由

本多忠勝公の初陣は永禄3年(1560)の13歳の時、桶狭間の合戦の前哨戦となった大高城の兵糧入れでした。以来、関ヶ原の合戦にいたるまで大小の合戦に出陣すること実に57回、その間1度も負傷しませんでした。連戦連勝の秘訣は、卓越した槍の腕前とともに、戦場でも動きやすい軽い鎧兜にありました。敵を恐れるあまり重装備にすると身動きがとれず、かえって危ないのです。武田軍から「家康に過ぎたるものが二つあり、唐の頭と本多平八」と称賛されたのも、この決断にあったのです。

